

特定非営利活動法人 みやっち 設立趣旨書

1 趣 旨

農林業などの自然体験は、人づくりの「原点」だと言われています。子ども達は、自然体験を通して、多くの人たちと関わりながら、仲間とのコミュニケーション能力や自立心、主体性、協調性、創造力などの「社会を生き抜く力」を養っていきます。また、自分自身との対話や実社会との関わりなどを考える契機にもなり、人間関係をうまく作れない、規範意識が欠けている、些細なことでも感情を抑えられないなどの子ども達が抱える課題を解決するための一つのアプローチとしても、有効とされています。

設立代表者は、2年前から友人が運営する特定非営利活動法人の活動に携わってきました。その中で、発達障害の子ども達の自然体験などをサポートしながら、子ども達の成長を間近に見ることができ、体験活動の必要性和有効性を実感してきました。また、ひとり親や親からの虐待など、生き辛さを抱える子ども達の生活支援をしながら、そのような家庭環境の子どもたちの居場所づくりの必要性も実感してきましたので、自ら子ども達が豊かな体験活動ができる場づくりをやりたいと考えており、多くの仲間がその活動に賛同していました。

私たちの活動拠点である函南町は、自然豊かな地域で、未だに多くの農地や竹林などが残っています。函南町では、まちづくりの主要事業の一つとして「多様な体験活動と地域活動の充実」を掲げており、官民協働で子ども達の体験活動の場を実現することができます。また、町内では同様な体験活動を行っている団体はありませんので、多くの子育て世代から興味を持っていただき、私たちの活動の場所として最適な地域です。

この度、町内の古民家や農地、竹林などをお借りすることができ、町の豊かな自然を有効的に生かしながら、行政や地域の皆さんからの信頼と協力を得て私たちの活動を着実に拡充していくために、社会的に認められた公的な組織である特定非営利活動法人を設立して活動することにいたしました。

今後はこども達が、四季折々の自然と共に、種をまき・育て・収穫し・食したり、命の芽生えから体感し、五感を鍛え脳や心を満たしていくことを根付かせていきます。孤独感・不安を安心に変える場所や世代を超えた交流ができる居場所作りながら、命の大切さ・親子の絆を深め・尊重し、支え合える心を育てていきます。また、地域他団体とも連携・協働しながら多世代交流事業を行い、孤独・不安を抱えている子育て世代、シニア世代の「安心」「元気の源」を生み出していきます。

2 申請に至るまでの経過

2015年 4月 地域福祉に関する勉強会

2018年12月 発達障害児に関する勉強会

2020年10月 函南町の農園にて、地域の子育て世代と芋ほり体験実施

2022年 8月 設立総会開催

2022年 8月 15日

特定非営利活動法人みやっち

設立代表者 氏 名 八木 美弥子